

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	インターネット議会中継システム事業				会計	款	項目	大	小
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			01	01	01	03	53
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課		議会事務局		
					主管課長		竹内 繁教		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民に開かれた市議会の実現に向けて、更なる情報公開と情報の共有化に努める。
事業内容	本会議の様子を、インターネットによって、ライブ中継及び録画配信することによって、直接、傍聴に來られない市民の皆さんに議会の情報を迅速に発信し、議会活動への参加、理解を推進することができる。			
事業開始から現在までの状況変化	議会の結果および意見等は直接議会の傍聴するか、会議録が作成されるまで公表する機会がなかった。インターネット中継にて配信することにより、自宅にて会議を視聴することができ、さらに会議内容をより迅速に市民に対して知らせることが可能となった。平成26年12月よりタブレット端末、スマートフォンに対応した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	本会議・臨時会開催日数	25	25	25	日	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						本会議におけるインターネットによるライブ中継と録画配信及び議会運営委員会、各常任委員会、特別委員会におけるYouTube中継、録画配信を実施している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,015,600	7,356,851	7,625,352			
事業費(b)(円)		2,124,700	2,519,851	2,354,352			
うち一般財源		2,124,700	2,519,851	2,354,352			
職員給与費(c)(円)		4,890,900	4,837,000	5,271,000			
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	議会フロアの通信環境の改善、中継に利用する機器（パソコン）の更新を行う。	③取組の課題	中継に利用しているSNS運営企業の撤退など、施策継続に問題が起ることが認識された。
②今年度(H27)に実施した取組	議会中継を事業撤退をしたUstreamからYouTubeに変更した。	④今後の改善計画	新たに導入したYouTubeに習熟するように、マニュアルの整備を行う。